北海道開発局長記者会見資料 令和6年4月17日

令和5年度の大雪・暴風雪対応の取組





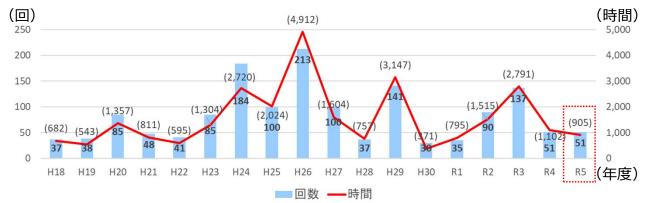


北海道の国道における冬期通行止めの状況

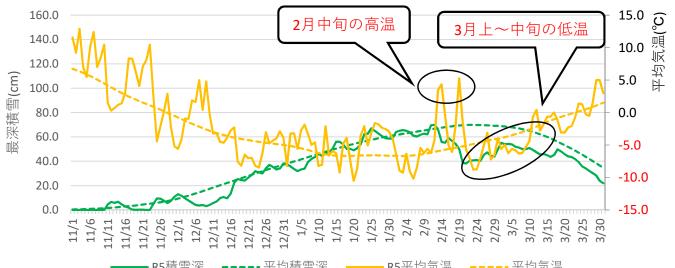


- 令和5年度は、発達した低気圧の影響等により、**19路線の国道で延べ51回、905時間の通行止めを実施**し、交通へ大きな影響を及ぼした。
- 冬期事象による通行止めは、1月下旬に多い状況となっており、通行止めの要因別では**吹雪による通行止めが6割以上と**低気圧等による悪天候によるものが多い状況。

■国道の冬期通行止め状況



■【参考】全道の積雪・気温状況

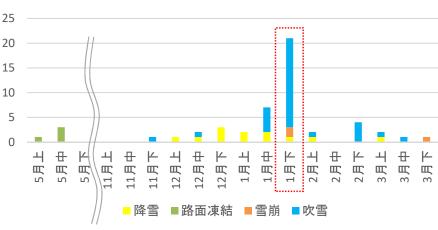


() は通行止め時間

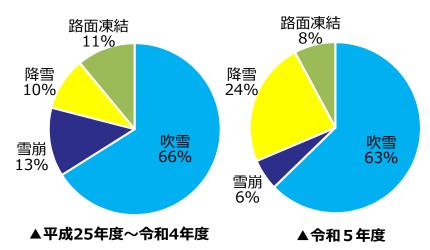
・気象庁HPより、北海道内所在の各観測所の平均値を採用

・平年値:1991~2020年の30年間の平均値

■令和5年度通行止め回数(冬期事象)



■冬期通行止め要因

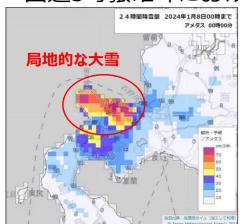


令和6年1月7日~8日の国道5号張碓峠の対応事例

其に北海道□未来を創る
第日期北海道総合開発計画

- 小樽市では令和6年1月7日から8日に**統計開始以来最多となる48時間降雪量81cmの記録的な大雪**が発生し、国道5号張碓峠と並行する高速道路(E5A札樽道)の通行止めが実施された。 (令和4年度国道通行止め時の48時間降雪量は49cm)
- 高速道路の通行止めにより、並走する国道の交通量の増加が見込まれたことから、**道路状況の重点監視、除雪車の事 前配備・巡回除雪等の体制強化**等による立ち往生車両発生の防止対策により通行止めは実施しなかった。

■国道5号張碓峠における取組



▲24時間降雪量分布図(1月7日)

資料: 気象庁HP

100 R4年度通行止め時と 比べて、48時間降雪量 81
が大きく上回った 49

40 (1/7 8:00) ※R4年度 通行止め時 国道5号通行止め (1/10 9:00) (1/10 9:00

▲小樽 48時間降雪量・気象庁(アメダス)より

5 緊急開口部の活用

高速道路の緊急開口部を活用して、除雪車が国道 ヘアクセスできるようNEXCO東日本と連携

⇒今年度アクセスが必要となる渋滞が発生しなかったため、活用実績なし

① CCTV監視強化 高速道路の通行止め時は 並行国道の路面・降雪等 道路状況の監視体制を強化



▲監視モニター画像

令和6年 E5A札樽自動車道

R5.1.10 0:00∼24:00

R6.1.7 0:00~24:00

R5.1.11 0:00∼24:00

R6.1.8 0:00~24:00

·朝里IC~銭函IC 1/7(日) 8:00~事故通行止

- · 銭函IC~新川IC 1/7(日) 8:30~吹雪通行止
- ·新川IC~札幌JCT 1/7(日) 8:43~吹雪通行止
- ・新川IC~札幌JCT 1/8(月) 14:30~通行止解除

· 小樽IC~新川IC 1/8(月)19:10~通行止解除

②情報板による道路情報提供

情報板を活用して通行止め情報や除雪作業 状況等の情報を提供





▲情報板の表示内容

③除雪車の事前配備

張碓峠の山頂付近の駐車帯 に除雪機械を事前配備



▲事前配備の除雪ドーザ による除雪

4巡回除雪の実施

て重点的に巡回除雪を実施

天候悪化による大雪や吹きだまりの発生が予想される 場合は、巡回除雪を実施し立ち往生発生を防止







▲除雪トラックによる除雪 ▲梯

▲梯団による除雪

【参考】令和5年度の大雪による主な事象①



■留萌市大雪事象

- 留萌市では令和5年12月18日から19日にかけて統計開始以来最多 となる24時間78 c mの記録的な大雪となり、大雪の影響により 公共交通機関の運休などの影響が発生しました。
- 国道231号の留萌市街部では、大雪の影響で道路状況が悪化した ため、市街部交通の確保並びに雪堆積場までの運搬路を確保する ため、市街部の集中的な除雪を行いました。

■国道37号豊浦町大雪事象

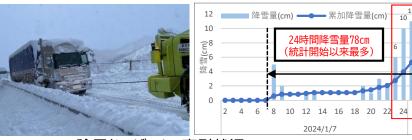
- 令和6年1月8日には、豊浦町において局地的で短時間の降雪に より、統計開始以来最多となる24時間78 c mの記録的な大雪の 影響で、国道37号でスタックが発生しました。
- 国道37号長万部から洞爺湖間で全面通行止めを実施し、除雪 ドーザの牽引によるスタック車両35台の救出を行いました。





▲ 小型除雪機の貸出状況





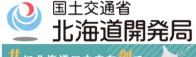
▲ R6.1.8 除雪ドーザによる牽引状況 ▲ 豊浦町大岸 降雪量1/7-1/8 (国道37号 豊浦町)

・気象庁 (アメダス) より

78

▲ 留萌 降雪量12/18-12/19 · 気象庁 (アメダス) より

【参考】令和5年度の大雪による主な事象②



共に北海道の未来を創る 《**大** 第日期北海道総合開発計画

■宗谷暴風雪事象

- 宗谷地方を中心に令和6年1月23日から26日にかけて**発達した低気圧の影響による暴風雪**の影響により、国道2路線5区間、総延長約118.9kmの通行止めを実施し、全線開通に4日間を要しました。
- 規制区間内において、**道路パトロールカー**による**救急車両の先導**を行い、また、出来るだけ早い交通確保を図るため、**昼夜を問わず常時除雪作業**を実施しました。







路線凡例

直轄通行規制区間

道道通行規制区間

小石チェーン制限は

▲R6.1.25 救急車両先導状況 (稚内市の病院に向けて先導)



▲R6.1.24 道路カメラ状況[猿払村シネシンコ] (写真上:6時頃、写真下:11時頃)

■国道334号羅臼町雪崩事象

○ 令和6年1月25日には、1月の統計開始以来最多となる24時間67 cmの記録的な大雪の影響により羅臼町で表層雪崩が発生し、国道334号で全面通行止めに至りました。現地では2次災害の状況を確認し、雪崩処理を早急に実施し、速やかな交通確保を行いました。



▲R334交通開通状況

· 二 __ , · 気象庁(アメダス)より

関係機関と連携した情報発信



- (公財)日本道路交通情報センター(JARTIC)と連携して道路情報を北海道開発局からリアルタイムに提供し、外出を控えることや広域迂回への協力依頼などの情報発信をラジオ放送で計326回実施。
- 気象台等からの気象予測により、大雪・猛吹雪による交通障害が予想される場合は、NEXCO東日本北海道支社と連名で、道路利用者に対し、注意喚起や出控えを呼びかけるための記者発表を5回実施。
- 通常の情報提供に加えて、SNS等を活用したプッシュ型の情報発信を北海道開発局や各開発建設部にて実施し、令和5年度の冬期における情報発信では、通行止め等の情報に関して最も多いもので、約5.2万インプレッションがあり、広く道路利用者などに有用な情報提供を行った。

取 組

- ■(公財)日本道路交通情報センターと連携したラジオ放送による情報提供
- 北海道開発局がリアルタイムに道路情報(悪天候、 通行止め等)を提供
- (公財)日本道路交通情報センターがラジオ放送によりドライバーに最新情報を提供し、外出を控えることや広域迂回への協力を呼びかけ
- ・ 道内では○日から○日にかけて【○○】の 影響で高速道路や国道などが通行止めになる可能性があります。車の立ち往生や事故による渋滞などを防ぐため、悪天候の時は 車での外出を控え、大型車はタイヤチェーンの装着の徹底や、通行止め区間周辺の市町村道を利用した迂回は行わず、国道などに大きく迂回するよう北海道開発局では協力を呼びかけています。



日本道路交通情報センター

JARTIC×北海道開発局 放送集計

放送集計主な放送局◆大雪・暴風雪 7回NHK、STV、AIR-G´、HBC、
ノースウェーブ、ラジオカロス
札幌

■関係機関と連携した記者発表



- ○暴風雪・大雪等の注意喚起
- ○出控えの呼びかけ
- ○タイヤチェーン装着徹底の呼びかけ

■ SNS(X 旧Twitter)による情報提供 (インプレッション数ベスト3)

第1位 R6.1.22 気象による通行止め情報【函館開発建設部】



第 2 位 R6.2.18 なだれ注意報発表 第 3 位 R6.1.26管内通行止め情報 【北海道開発局】 【網走開発建設部】



約4.5万インプレッション

約2.8万インプレッション